



システム障害時の対応について

2006年12月7日

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部



背景

- 2005年10月23日に、JPNIC管理下でAPNICが逆引きを管理するアドレス空間の委譲が約20時間にわたり停止
 - この障害以降も、数回のトラブルが発生した
- 第9回JPNICオープンポリシーミーティング(2005年12月8日)で、「RIR情報の迅速な共有体制作りの提案」が行われ、コンセンサスに至った
- これらを受け、JPNICおよびAPNICにおいても障害時の対応について見直しを実施

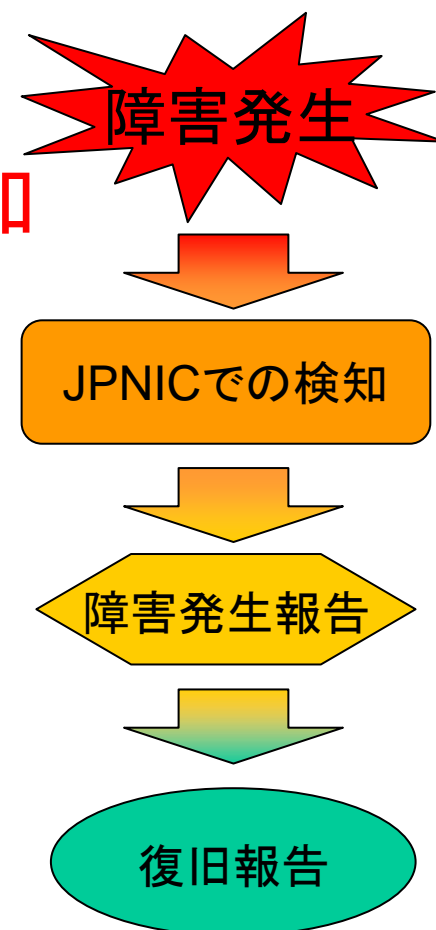
これまでの取り組み

- 問題点の改善
 - 早期の障害検知に向けた手順の整備
 - コミュニティへの広報体制の充実
 - 電子メール以外による障害報告方法の検討
- APNICとの調整
 - APNIC次期システムの確認
 - ミーティングでの情報共有



障害発生時の広報体制

- IP指定事業者への電子メール
- JPNIC Webページでの公開
- IP指定事業者へのFAXによる通知
 - 逆引きネームサーバに関する障害時のみ
- 各種MLでの報告
 - ip-users、JANOG、dnsops





APNICとの連携の強化

- 問題意識の共有
 - APNICポリシーミーティングでの情報共有(2006/03)
 - APNICシステム担当者とのオフラインミーティング(2006/03,2006/09)
- APNICシステムの改善への協力
 - 次期システム検討WGの立ち上げ
- APNICのシステムメンテナンス時間の固定化
 - 毎週月曜・火曜の午前7時～8時(日本時間)
 - 事前にWebでのアナウンスを実施
 - この日程に合わせてJPNICでも監視体制を強化

Q&A

